

新 版 注 釈 会 社 法

(10)

社 債 (1)

§§ 296 ~ 341

〔 (付) 社債発行限度暫定措置法
社債等登録法 〕

編集代表

上 柳 克 郎

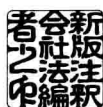
鴻 常 夫

竹 内 昭 夫



有 斐 閣

著作権所有



新版 注釈会社法(10) 社債(1)

昭和 63 年 8 月 30 日 初版第 1 刷発行
平成 5 年 10 月 30 日 初版第 4 刷発行

定価 4,120 円

編集代表 上 柳 克 郎
鴻 常 夫
竹 内 昭 夫
発行者 江 草 忠 敬

〔101〕東京都千代田区神田神保町 2-17

発行所 株式会社 有 斐 閣

電話(03)3264-1314〔編集〕

3265-6811〔営業〕

振替口座東京 6-370 番

京都支店〔606〕左京区田中門前町 44

印刷 株式会社 精興社
製本 和田製本工業株式会社

© 1988, 上柳克郎・鴻 常夫・竹内昭夫, Printed in Japan
落丁・乱丁本はお取替えいたします。

ISBN 4-641-01680-1

編 集 委 員

上	柳	克	郎
蓮	井	良	憲
河	本	一	郎
鴻		常	夫
北	沢	正	啓
竹	内	昭	夫
谷	川		久
平	出	慶	道
前	田		庸
龍	田		節
森	本		滋
江	頭	憲	治郎

は し が き

この『新版注釈会社法』全 15 巻は、昭和 42 年から 47 年にかけて、故西原寛一先生、大隅健一郎先生、鈴木竹雄先生、故石井照久先生の 4 先生の還暦をお祝いして刊行された『注釈会社法』全 10 巻を本格的に改訂した新版である。この新版は、旧版刊行後に実現した昭和 49 年および昭和 56 年の会社法の大改正や会社法関係の重要法律に即して、最新の内容を盛り込んだ詳細な注釈書であって、決して旧版の単なる改訂版ではない。

『注釈会社法』旧版については、昭和 49 年改正にもとづく改正部分の注釈を行った『補巻』が昭和 55 年に刊行されている。しかしこの補巻は、昭和 49 年改正にもとづく改正部分だけの注釈を収めたものであるから、同改正法で修正されなかった条文については、執筆後十数年間、全く改訂がなされなかったわけである。その間における会社法関係の判例・学説・実務の著しい進展には眼を見張るものがあり、理論的立場からも実務の面からも、新たな検討を迫る問題が多数生じてきている。そのため注釈会社法の全面的な改訂の必要が痛感されていた。それに加えて、昭和 56 年の会社法改正は、株式、株式会社の機関、株式会社の計算・公開、新株引受権付社債というように株式会社法の全般にわたるきわめて重要な大改正であったため、昭和 56 年改正法に即した新版注釈会社法の刊行が待望されていた。

このような状況を前にして、われわれは、構想を新たにした『新版注釈会社法』の刊行を計画した。編集に慎重を期するため編集体制の強化を考えたところ、編集委員として幸いに、学界で指導的地位にある諸教授の協力が得られることになった。また、会社法のように大きな法律の詳細な注釈書を刊行するためには、多数の学者の協力が必要なことはいうまでもない。そこで多数の新進商法学者にも執筆をお願いして清新な内容の実現を図るとともに、必要に応じ商法以外の専門家の協力を仰いで遺漏なきを期した。

会社制度は、複雑多岐であり、商法典中の「会社編」のみでは十分な規制

は し が き

ができないため、特別法として多くの関係法令が定められているが、今回の新版では、旧版でも独立の注釈を施した諸法律に加えて、新たに「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」、「株券等の保管及び振替に関する法律」、「社債発行限度暫定措置法」を収めたほか、「大会社の株主総会の招集通知に添付すべき参考書類等に関する規則」や「大会社の監査報告書に関する規則」についても独立して注釈を加えることとした。これにより、昭和56年改正後の現行会社法について、余すところなく詳細な注釈が加えられることとなった。その結果『新版注釈会社法』は、総索引を加えて全15巻となった。量的増加とともに質的にも一段の向上をとげていることを願ってやまない。

この『新版注釈会社法』が、会社法の研究や実務に役立つだけでなく、その刊行を通じてわが国の会社法学の発展に貢献することができれば、編集に関係した者として、これ以上の喜びはない。

この新版の刊行にあたっては、旧版の監修者であられた大隅健一郎、鈴木竹雄の両先生の格別の御配慮を受けた。このことを記して心から御礼を申し上げるとともに、両先生のいっそうの御健勝を切に祈るものである。

この新版の刊行に御協力下さり、公務多忙の中を苦勞の多い注釈をまとめていただいた諸教授に対して、厚く御礼を申し上げる。

末尾ではあるが、困難の多い本書の出版を引き受けて定期的な刊行のため全力を挙げている有斐閣のみなさんに対しても、深甚の謝意を表したい。

昭和60年8月1日

編集代表 上 柳 克 郎
鴻 常 夫
竹 内 昭 夫

凡 例

1) 各条の通し注釈番号

本書は項目を立てて解説する形式の注釈書であるが、それぞれの注釈では、❖1、❖2、❖3……のような通し番号を付けた。これは、注釈書の性質上、読者の検索の便宜を図ったものである。すなわち、注釈個所の検索指示は、目次の場合（頁で表示）を除き、次のようにすべて各条の注釈番号によることとした。

同一個条内の場合 例：⇒♦3, ♦4・5, ♦6~9

他の条文注釈の場合 例：⇒ § 229 ♦ 2・3

他巻の条文注釈の場合 既刊本の例：⇒第5巻§232◆15

未刊本の例：⇒第13巻§498注釈

例：⇒旧注会(2) § 168 ★ 6 [上柳]

(ただし、より細かく指示する必要があるときは、⇒❖10(3)□(b), ⇒§241
❖1(3)のごとく、(1),(2)⋯,(イ),(ロ)⋯,(a),(b)⋯等の段落記号を付した。)

2) 引用文献の略記

会社法関係の文献は、法改正が多く、類似表題のものもあって複雑多岐なため、注釈中ではおおむね次のような略記法を用いた。

- ① 著書・論文集・改正法解説書・講座などで本注釈書全巻に通じるもの、および当該巻で引用される頻度の高いものは、後掲の「文献略語表」に示す略記法に従って引用し、参照頁を示す。

- ② 判例批評については、次の略記法を用いる。

西原寛一〔判批〕民商○卷○号○○（頁）……雑誌の場合

鈴木竹雄・判民昭〇年度〇〇事件評釈……………判例民事法（東京大学）の場合
大隅健一郎・商事判研〇巻〇（頁）……………商事法判例研究（京都大学商法
研究会）の場合

石井照久・商判研昭〇年度〇〇事件評釈……商事判例研究（東京大学商法研究会）の場合

鴻常夫・百選〔新版〕〇〇(頁)……………会社判例百選の場合

- ③ 上記以外の文献については、各注釈ごとに、①初出の際、著者(執筆者)の姓名、書名(論文名)、巻数(掲載誌とその巻号)、刊行年、参照頁を掲記し、②以後かさねて引用される際は、上掲①・②のものを含め原則として、③同じ注釈番号の中では「前掲」でうけて頁のみを表示し、④他の注釈番号の個所では次のように略記した。

例：大森〔◆1〕論叢○卷○号○○（頁）

凡 例

④ 雑誌名については、以下の略語を用いた。

青山法学＝青山法学論集	曹 時＝法曹時報
インベスト＝インベストメント（大阪証券取引所）	早 法＝早稲田法学
大阪株懇＝大阪株式事務懇談会記録	東京株懇＝東京株式懇話会会報
関大法学＝法学論集（関西大学）	同 法＝同志社法学
企 会＝企業会計	日 法＝日本法学
九大法研＝法政研究（九州大学）	判 研＝判例研究
京 法＝京都法学会雑誌	判 時＝判例時報
金 商＝金融・商事判例	判 タ＝判例タイムズ
金融法務＝金融法務事情	判 評＝判例評論（判例時報付録）
慶応法研＝法学研究（慶応義塾大学）	一 橋＝一橋論叢
月刊法教＝法学教室	ひ ろ ば＝法律のひろば
国 家＝国家学会雑誌	法 学＝法学（東北大学）
財 経＝財經詳報	法 協＝法学協会雑誌（東京大学）
私 法＝私法（日本私法学会）	法教〔I, II期〕＝法学教室（ジュリ別冊）
時 報＝法律時報	法 セ＝法学セミナー
ジュリ＝ジュリスト	法 タ＝法律タイムズ
商事法務＝商事法務研究（1～591号）	法 論＝法律論叢（明治大学）
志 林＝法学志林（法政大学）	北 法＝北大法学論集
神 法＝神戸法学雑誌	民 商＝民商法雑誌
新 報＝法学新報（中央大学）	名 法＝法政論集（名古屋大学）
	論 叢＝法学論叢（京都大学）

3) 参照条文の略記

商法の条文は、単に数字のみをもって示した（例1）。しかし、改正されたことのある条文で改正前の旧規定を示す場合（例2）は、便宜上、例示の方法によった。また、商法以外の法令については、次項の法令名略語によって示した（例3）。

例1：58Ⅰ① ……………商法第58条第1項第1号

例2：昭56改正前253 ……………昭和56年商法改正前の旧規定第253条

例3：民訴201Ⅱ ……………民事訴訟法第201条第2項

なお、「社債発行限度暫定措置法」および「社債等登録法」の解説中においては、同法を引用する場合にかぎり、法令名略語を省略した。商法の条文を引用するときには商を加えた。

4) 法令名の略記

下掲のものを除き、おおむね有斐閣六法全書の「法令名略語」によった。

イ 民＝イタリア民法	改商施＝商法の一部を改正する法律施行法
英 会＝イギリス会社法	

改商附＝商法の一部を改正する法律附
則

ス 債＝スイス債務法

ド 株＝西ドイツ株式法

ド 商＝西ドイツ商法

ド 民＝西ドイツ民法

フ 会＝フランス商事会社法

フ 会令＝フランス商事会社法施行令

フ 商＝フランス商法

フ 民＝フランス民法

5) 判例引用の略記

判例の引用にあたっては、次の略記法を用いた。なお、公刊された判例集については、戦前のものは号数を省略し、戦後のものにはこれを入れた。ただし、引用頁は、ともに通し頁による。

最判昭 50・6・27 民集 29 卷 6 号 879＝最高裁判所昭和 50 年 6 月 27 日判決、
最高裁判所民事判例集 29 卷 6 号 879 頁

大決大 10・10・27 民録 27 輯 1830＝大審院大正 10 年 10 月 27 日決定、大審
院民事判決録 27 輯 1830 頁

東京高判昭 33・7・30 高民 11 卷 6 号 400＝東京高等裁判所昭和 33 年 7 月
30 日判決、高等裁判所民事判例集 11 卷 6 号 400 頁

東京地判昭 30・7・8 下民 6 卷 7 号 1361＝東京地方裁判所昭和 30 年 7 月 8
日判決、下級裁判所民事裁判例集 6 卷 7 号 1361 頁

その他の略語：――

彙 報＝判例彙報

下 刑＝下級裁判所刑事裁判例集

簡 判＝簡易裁判所判決

行 集＝行政事件裁判例集

行 判＝行政裁判所判決

行 録＝行政裁判所判決録

刑 月＝刑事裁判月報

刑 集＝大審院（最高裁判所）刑事判例集

刑 録＝大審院刑事判決録

高 刑＝高等裁判所刑事判例集

控 判＝控訴院判決

最 近 判＝最近判例集（法律日社）

裁 時＝裁判所時報

最 大 判＝最高裁判所大法廷判決

裁 判 集 民＝最高裁判所裁判集民事

裁 判 例＝大審院裁判例（法律新聞社）

支 判＝裁判所支部判決

商 判 集＝小町谷操三＝伊沢孝平編・商事判例集（岩波書店）〔台湾の場合は、

凡 例

〔台本上、下と示した〕

新 商 判 集＝小町谷操三編・新商事判例集（岩波書店）

新 聞＝法律新聞〔戦前のもの〕

大 連 判＝大審院（民事，民刑，刑事）連合部判決

東高民時報＝東京高等裁判所民事判決時報

判 決 全 集＝大審院判決全集

判 例 拾 遺＝大審院判例拾遺

判 例 総 覧＝商法判例総覧（帝国判例法規出版）

評論〇〇商〇〇＝法律評論〇〇巻商法〇〇頁

労 民＝労働関係民事裁判例集

文献略語表

I 会社法一般（全巻を通ずるもの）

〔あ行〕

- 伊沢……………伊 沢 孝 平 会社法講義（昭 38，有斐閣）
伊沢・註解……………〃 註解新会社法（昭 25，法文社）
石井・上，下……………石 井 照 久 会社法 上，下（昭 42，第 2 版：昭 47，勤草書房）
石井編・註解……………石井照久編 註解株式会社法 I（昭 28，同上）
石井＝鴻……………石井照久＝鴻常夫 会社法第 1 巻（昭 52，同上）
石井追悼……………鴻常夫編集代表 石井照久先生追悼論文集＝商事法の諸問題（昭 49，有斐閣）
今井 外・注釈上，下…今井宏＝神崎克郎＝菅原菊志＝田村諄之輔＝長浜洋一＝蓮井良憲＝平出慶道＝前田庸 注釈株式会社法 上，下（昭 59，同上）
上柳・論集……………上 柳 克 郎 会社法・手形法論集（昭 55，同上）
上柳 外編 I，II ……上柳克郎＝北沢正啓＝鴻常夫＝竹内昭夫編 新版会社法 I，II（商法講義(2)(3)）（昭 57，同上）
上柳還暦……………河本一郎外編 上柳克郎先生還暦記念＝商事法の解釈と展望（昭 59，同上）
烏賀陽……………烏賀陽然良 会社法（昭 8，弘文堂）
烏賀陽・研究 II ……〃 商法研究第 2 巻（昭 11，有斐閣）
ヴェルディンガー＝河本 ……H. ヴェルディンガー＝河本一郎 ドイツと日

- 本の会社法 (昭 44, 改訂版: 昭 50, 商事
法務研究会)
- 大賀……………大賀 祥 充 改正会社法講話 (昭 57, 成文堂)
- 大隅……………大隅健一郎 会社法論 (昭 15, 巖松堂)
- 大隅・上, 中 …………… “ 全訂会社法論上, 中 (昭 29, 34, 有斐閣)
- 大隅・諸問題…………… “ 会社法の諸問題 (昭 31, 増補版: 昭 39,
再増補版: 昭 50, 新版: 昭 58, 有信堂
高文社)
- 大隅・新訂…………… “ 新訂会社法概説 (昭 50, 有斐閣)
- 大隅 = 今井・概説……………大隅健一郎 = 今井宏 最新会社法概説 (昭 59, 同上)
- 大隅 = 今井・上, 中 I, 中 II ……大隅健一郎 = 今井宏 新版会社法論上, 中
I, 中 II (昭 55, 58, 58, 同上)
- 大隅還暦……………京都大学商法研究会編 大隅健一郎先生還暦記念 =
商事法の研究 (昭 43, 同上)
- 大隅古稀……………上柳克郎外編 大隅健一郎先生古稀記念 = 企業法の
研究 (昭 52, 同上)
- 鴻・研究 I ……………鴻 常 夫 商法研究ノート I (昭 40, 日本評論社)
- 鴻 = 竹内・商法教室……………鴻常夫 = 竹内昭夫 自習商法教室 (昭 57, 有斐閣)
- 鴻編・全書……………鴻常夫編集代表 会社法律全書 (昭 54, 第一法規出
版)
- 鴻 = 北沢編・事典……………鴻常夫 = 北沢正啓編 商法事典 (昭 49, 青林書院)
- 鴻 外編・演習上, 中, 下 ……鴻常夫 = 河本一郎 = 北沢正啓 = 戸田修三編 演
習商法〔会社〕(改訂版) 上, 中, 下 (昭
61, 同上)
- 鴻還暦……………江頭憲治郎編 鴻常夫先生還暦記念 = 八十年代商事
法の諸相 (昭 60, 有斐閣)
- 大森……………大森 忠 夫 新版会社法講義 (改訂版) (昭 42, 有信
堂高文社)
- 大森還暦……………上柳克郎編集代表 大森忠夫先生還暦記念 = 商法・
保険法の諸問題 (昭 47, 有斐閣)
- 大森洪……………大森 洪 太 会社法〔新法学全集〕(昭 14, 日本評論
社)
- 岡野……………岡野敬次郎 会社法 (昭 4, 岡野奨学会)
- 岡野・講義案…………… “ 会社法講義案 (再版) (大 9, 中央大学)

凡 例

〔か行〕

- 片山……………片山義勝 株式会社法論（大5，中央大学）
 片山・原論……………片山義勝 会社法原論（6版）（大9，同上）
 河本……………河本一郎 現代会社法（新訂3版）（昭61，商事法律研究会）
 河本編・教材……………河本一郎編 株式会社法教材（昭58，同上）
 神崎……………神崎克郎 新版商法Ⅱ〔会社法〕〔現代法律学講座〕（昭59，青林書院）
 喜多川……………喜多川篤典 株式会社の法理（昭41，中央経済社）
 北沢……………北沢正啓 新版会社法（昭57，青林書院）
 北沢・研究……………〃 株式会社法研究（昭51，有斐閣）
 国歳……………国歳胤臣 会社法要領（昭26，三和書房）
 倉沢……………倉沢康一郎 会社法の理論（昭54，中央経済社）
 小町谷＝菅原Ⅰ，Ⅱ…小町谷操＝菅原菊志 商法講義会社(1)(2)（昭43，46，有斐閣）
 小町谷古稀……………鈴木竹雄編集代表 小町谷操三先生古稀記念＝商法学論集（昭39，同上）

〔さ行〕

- 実方Ⅰ，Ⅱ……………実方正雄 改訂会社法学Ⅰ，Ⅱ（昭27，29，有斐閣）
 鮫島……………鮫島真男 要説・改正会社法（昭57，東京布井出版）
 ジェニングス＝北沢編…R.W. ジェニングス＝北沢正啓編 アメリカと日本の会社法——現代会社法の諸問題（昭40，商事法律研究会）
 鈴木……………鈴木竹雄 新版会社法（全訂2版補正版）（昭58，弘文堂）
 鈴木・研究Ⅱ，Ⅲ……………〃 商法研究Ⅱ，Ⅲ（昭46，有斐閣）
 鈴木＝河本・証取……………鈴木竹雄＝河本一郎 証券取引法（新版）〔法律学全集〕（昭59，同上）
 鈴木＝竹内……………鈴木竹雄＝竹内昭夫 会社法（新版）〔法律学全集〕（昭62，同上）
 鈴木古稀上，中，下……………竹内昭夫編 鈴木竹雄先生古稀記念＝現代商法学の課題 上，中，下（昭50，同上）

〔た行〕

- 高田還暦……………武市春男外編 高田源清教授還暦記念論文集＝商法・経済法の諸問題（昭47，評論社）

- 高鳥……………高鳥正夫 会社法（改訂版）（昭58，慶応通信）
- 高鳥・諸問題……………〃 会社法の諸問題（増補版）（昭56，同上）
- 竹内・理論Ⅰ，Ⅱ ……竹内昭夫 会社法の理論Ⅰ，Ⅱ（昭59，有斐閣）
- 竹内敏……………竹内敏夫 新版会社法（改訂版）（昭42，評論社）
- 竹田・理論と解釈……………竹田省 商法の理論と解釈（昭34，有斐閣）
- 竹田古稀……………大隅健一郎編集代表 竹田省先生古稀記念＝商法の諸問題（昭27，同上）
- 田中耕……………田中耕太郎 改正会社法概論（昭14，岩波書店）
- 田中耕・上，下 ……〃 会社法概論 上，下（昭30，同上）
- 田中耕・研究Ⅰ，Ⅱ ……〃 商法研究第1巻，第2巻（昭4，10，同上）
- 田中耕・著作集……………田中耕太郎著作集第8巻＝商法学特殊問題 上（昭30，春秋社）
- 田中耕還暦……………我妻栄＝鈴木竹雄編 田中耕太郎先生還暦記念＝商法の基本問題（昭27，有斐閣）
- 田中誠Ⅱ，Ⅲ ……田中誠二 商事法研究第2巻，第3巻（昭46，52，千倉書房）
- 田中誠・研究……………〃 会社法研究（昭34，同上）
- 田中誠・詳論上，下 ……〃 再全訂会社法詳論上，下（昭57，勁草書房）
- 田中誠 外・注釈……………田中誠二＝吉永栄助＝山村忠平 4全訂コンメンタール会社法（昭59，同上）
- 田中誠古稀……………吉永栄助編 田中誠二先生古稀記念＝現代商法学の課題（昭42，千倉書房）
- 田中誠米寿……………久保欣哉＝坂本延夫＝並木俊守＝原茂太一＝堀口亘＝吉永栄助編 田中誠二先生米寿記念論文集＝現代商事法の重要問題（昭59，経済法令研究会）
- 〔な行〕
- 西原……………西原寛一 会社法（2版）〔商法講義Ⅱ〕（昭44，岩波書店）
- 西原・研究Ⅱ，Ⅲ ……〃 商事法研究第2巻，第3巻（昭38，43，有斐閣）
- 西原・特殊法規……………〃 株式会社の範囲内における特殊法規の研究〔京城帝大法学会論集Ⅲ〕（昭5，刀江書院）

凡 例

西原追悼上……………小室直人 = 本間輝雄編集代表 西原寛一先生追悼論
文集 = 企業と法 上 (昭 52, 有斐閣)

〔は行〕

蓮井還暦……………今井宏外編 蓮井良憲先生還暦記念 = 改正会社法の
研究 (昭 59, 法律文化社)
長谷部……………長谷部茂吉 裁判会社法 (昭 39, 一粒社)
服部・通論……………服 部 栄 三 会社法通論 (3 版) (昭 58, 同文館出版)
服部 = 星川編・会社法 I, II, III ……服部栄三 = 星川長七編 別冊法学セミナ
ー基本法コンメンタール (3 版) 会社法
I, II, III (昭 59, 日本評論社)
菱田……………菱 田 政 宏 会社法 (改訂版) (昭 53, 中央経済社)
星川……………星 川 長 七 会社法新講 (昭 39, 同上)
本間 外編……………本間輝雄 = 山口幸五郎 = 古瀬村邦夫編 新版会社法
〔商法(3)〕 (昭 57, 法律文化社)

〔ま行〕

松田……………松 田 二 郎 会社法概論 (昭 43, 岩波書店)
松田・基礎理論…………… ” 株式会社の基礎理論 (昭 17, 同上)
松田・研究…………… ” 株式会社法研究 (昭 34, 弘文堂)
松田・理論…………… ” 株式会社法の理論 (昭 37, 岩波書店)
松田 = 鈴木忠……………松田二郎 = 鈴木忠一 条解株式会社法 上, 下 (昭 26,
27, 弘文堂)
松本……………松 本 丞 治 日本会社法論 (昭 4, 巖松堂)
松本・講義…………… ” 会社法講義 (大 11, 同上)
松本・註釈…………… ” 増補註釈株式会社法 (昭 24, 有斐閣)
松本・諸問題…………… ” 商法解釈の諸問題 (昭 30, 同上)
松本・論文集…………… ” 私法論文集 (大 15, 続編: 昭 13, 巖松
堂)
松本古稀……………田中耕太郎編集代表 松本丞治先生古稀記念 = 会社
法の諸問題 (昭 26, 有斐閣)

〔や行〕

八木……………八 木 弘 会社法 上 (昭 40, 千倉書房)
八木・財団論…………… ” 株式会社財団論 (昭 38, 有斐閣)
矢沢・企業法……………矢 沢 惇 企業法の諸問題 (昭 56, 商事法務研究
会)
矢沢・諸問題…………… ” 商法改正の諸問題 (昭 45, 同上)
矢沢 = 鴻・課題……………矢沢惇 = 鴻常夫 会社法の展開と課題 (昭 43, 日本評

論社)

- 横田……………横田正俊 会社法講義(合本初版:昭14, 巖松堂)
- 〔その他〕
- 演習……………上柳克郎=鴻常夫=竹内昭夫編 会社法演習Ⅰ～Ⅲ
(昭58～59, 有斐閣)
- 龍田 外・演習……………龍田節=藤井俊雄=森本滋 演習会社法(昭58, 同上)
- 演習商法……………竹内昭夫=松岡誠之助=前田庸 演習商法(昭59, 同上)
- 企業法講座……………竹内昭夫=龍田節編 現代企業法講座1～5(昭59～60, 東京大学出版会)
- 講座……………田中耕太郎編 株式会社法講座Ⅰ～Ⅴ(昭30～34, 有斐閣)
- 商法演習……………鈴木竹雄=大隅健一郎編 商法演習Ⅰ〔会社(1)〕, Ⅲ〔会社(2), 手形小切手(2)〕(Ⅰ:昭35〔改訂版:昭41〕, Ⅲ:昭38, 同上)
- 新商法演習……………鈴木竹雄=大隅健一郎=上柳克郎=鴻常夫=竹内昭夫編 新商法演習Ⅰ〔会社(1)〕, Ⅱ〔会社(2)〕(昭49, 同上)
- 争点……………商法の争点〔ジュリスト増刊〕(昭53, 2版:昭58, 同上)
- 総判商……………総合判例研究叢書商法(2)(4)(5)(7)(11)(昭32～43, 同上)
- 百選……………会社判例百選〔別冊ジュリスト〕(昭39, 新版:昭45, 3版:昭54, 4版:昭58, 同上)

II 商法改正関係

〔明治32年商法〕

- 修正参考書……………商法修正案参考書(明31)
- 修正理由書……………商法修正案理由書(明31, 博文館)

附 明治23年旧商法

- 梅……………梅謙次郎 改正商法講義(明26, 明法堂・有斐閣)

〔明治44年商法改正〕

- 明44改正理由書 ……法律新聞社纂 改正商法理由書(明44, 法律新聞社)
- 毛戸・明44改正 ……毛戸勝元 商法改正法評論(明44, 有斐閣)

凡 例

松本・明44改正 ……松本 丞 治 商法改正法評論（増補3版）（明44，巖松堂）

〔昭和13年商法改正〕

昭13改正理由書 ……司法省民事局編 商法中改正法律案理由書〔総則・会社〕（改訂）（昭13）

烏賀陽 外「昭13改正」…烏賀陽然良 = 大橋光雄 = 大森忠夫外「商法改正法案を評す(1)～(14)」法学論叢 34 卷 1～6 号（昭11），35 卷 1，3～6 号（昭11），36 卷 1～3 号（昭12）

奥野 = 佐々木・昭13改正（株式会社）…奥野健一 = 佐々木良一 株式会社法釈義（昭14，巖松堂）

奥野 = 佐々木・昭13改正（有限会社）…奥野健一 = 佐々木良一 有限会社法釈義 附：合名合資・株式合資会社法解疑（昭19，同上）

田中耕・昭13改正 …田中耕太郎 改正商法及有限会社法概説（昭14，有斐閣）

寺沢編・昭13改正審議 …寺沢音一編・改正商法審議要綱（昭16，法文社）

松本・昭13改正 ……松本 丞 治 株式会社法改正の要点（昭15，巖松堂）

〔昭和25年商法改正〕

大隅 = 大森・昭25改正 …大隅健一郎 = 大森忠夫 逐条改正会社法解説（昭26，有斐閣）

岡咲・昭25改正 ……岡咲 恕 一 解説改正会社法（昭25，日本経済新聞社）

岡咲 外・昭25改正 …岡咲恕一外 新会社法と施行法（昭26，学陽書房）

私法学会・昭25改正 …日本私法学会 改正会社法の疑義と解明〔私法別冊〕（昭26，有斐閣）

鈴木 = 石井・昭25改正 …鈴木竹雄 = 石井照久 改正株式会社法解説（昭26，日本評論社）

田中誠・昭25改正 …田中 誠 二 確定改正会社法解説（昭26，千倉書房）

法曹会・昭25改正 …法 曹 会 株式会社法改正の諸問題（昭24，法曹会）

〔昭和30年商法改正〕

西原 外・昭30改正 …西原寛一外 改正株式会社法の問題点（昭30，有斐閣）

〔昭和 37 年商法改正〕

上田・昭 37 改正 ……上 田 明 信 改正会社法と計算規則（昭 39, 商事法務研究会）

上田 = 吉田 外・昭 37 改正…上田明信 = 吉田昂 = 味村治 新商法解説——株式会社の計算（昭 38, 中央経済社）

鈴木 = 矢沢 外「昭 37 改正」…鈴木竹雄 = 矢沢惇外「計算規定の改正〈シンポジウム〉」私法 25 号（昭 38, 日本私法学会）

並木・昭 37 改正 ……並 木 俊 守 改正商法と計算規則解説（昭 38, 税務研究会）

吉田・昭 37 改正 ……吉 田 昂 改正会社法（昭 38, 日本加除出版株式会社）

〔昭和 41 年商法改正〕

鈴木 外・昭 41 改正 …商事法務研究会（鈴木竹雄外）改正会社法実務の研究（昭 41, 商事法務研究会）

田代・昭 41 改正 ……田 代 有 嗣 詳解改正会社法（昭 42, 財政経済弘報社）

味村・昭 41 改正 ……味 村 治 改正株式会社法（昭 42, 商事法務研究会）

〔昭和 49 年商法改正〕

居林・昭 49 改正 ……居 林 次 雄 改正商法詳解（昭 49, 税務研究会出版局）

大沢 外・昭 49 改正 …大沢功 = 保住昭一外 改正商法詳説（昭 49, 同文館出版）

大住・昭 49 改正 ……大 住 達 雄 新しい監査制度の解説（昭 49, 商事法務研究会）

大橋・昭 49 改正 ……大 橋 光 雄 商法改正法（昭 50, 経済法律時報社）

加藤 外・昭 49 改正 …加藤一昶外 改正商法と計算規則の解説（昭 50, 商事法務研究会）

黒木・昭 49 改正 ……黒 木 正 憲 新商法計算書類規則逐条詳説（昭 50, 税務経理協会）

酒巻・昭 49 改正 ……酒 巻 俊 雄 改正商法の理論と実務（昭 49, 帝国地方行政学会）

田辺 外・昭 49 改正 …田 辺 明 外 商法改正三法の逐条解説（昭 49, 商事法務研究会）

並木・昭 49 改正 ……並 木 俊 守 改訂新商法の逐条解説——改正商法・